

古代出雲の自然環境と文化遺産

20世紀は、自然環境や人間を取り囲む社会環境が大きく変化した時代でした。特に経済・技術の発展は自然破壊を押し進め、人間社会へさまざまな危機をもたらしました。そのような中で、21世紀は人間と自然環境の関係を改めて見直し、共生を図る“環境の世紀”とも言われています。

一方、島根県は古くから「神々の国」「神話のふるさと」として全国から親しまれ、豊かな自然環境に彩られた歴史的文化遺産、神話・伝承、祭礼行事が数多く残っています。

この講座では、古来より自然との対立・調和によって育まれた古代出雲の実像をひも解き、未来に向けて人間と自然の共生の道を探ります。(4回連続講座：入場無料)

第4回「遺産を未来に伝える～荒神谷遺跡の発掘調査と保存修復～」

「神々の国」「神話のふるさと」として全国に知られる島根県。島根に残された歴史的文化遺産を、未来に向けて、自然との共生の中で保存・活用していく道を探ります。

○開催日 平成18年12月9日(土) 13:00～16:00

○開催場所 島根県立古代出雲歴史博物館・講義室(出雲市大社町杵築東)

○講師 ・別府大学：渡辺智恵美助教授(保存科学)

・古代文化センター：松本岩雄センター長(考古学)

○スケジュール

13:00 開会

13:10～14:00 講演①「荒神谷遺跡の大発見～発掘調査の内側から～」

松本センター長

14:00～14:50 講演②「未来へつなぐ 修理と活用～荒神谷遺跡出土青銅器の保存修復～」 渡辺助教授

14:50～15:10 休憩

15:10～16:00 対談「遺産を未来に伝える～荒神谷遺跡の発掘調査と保存修復～」 松本センター長×渡辺助教授

16:00 閉会

【申し込み・お問い合わせ先】

聴講を希望される方は、事前の申し込みが必要となります。はがき・FAX・メール・電話等で聴講の申し込みを受け付けます。「公開講座希望」と明記し、住所・氏名・電話番号を記入のうえ、下記にお送りください。

〒690-0887 松江市殿町1番地 島根県古代文化センター

TEL 0852-22-6727 / FAX 0852-22-6728

Eメール：kodai@pref.shimane.lg.jp

※会場の都合により、先着70名とさせていただきます。お早めにお申し込み下さい。なお、この講座は連続講座ですが、聴講申し込みの受付はその都度行っておりますのでご協力を願います。

○講師プロフィール

松本岩雄（まつもといわお）

國學院大學文学部史学科考古学専攻卒 島根県職員として文化財行政に携わり 30 年。この間、多くの発掘調査現場に立ち、島根の大発見を間近に見続けてきた一人である。荒神谷遺跡の第 1 発見者で、その後の発掘調査・報告書作成まで中心的役割を担ってきた。現在は古代出雲歴史博物館の学芸部長も兼務している。主な編著作は、『出雲神庭荒神谷遺跡』（島根県教育委員会刊）、『弥生土器の様式と編年—山陽・山陰—（木耳社）など。

渡辺智恵美（わたなべちえみ）

奈良大学文学部史学科考古学専攻卒 卒業後、(財)元興寺文化財研究所にて出土金属製品の保存修復に従事する傍ら、古墳時代の耳環の製作技法など、自然科学的な調査を通して古代の金工技法の解明を目指している。同研究所に在職中に荒神谷遺跡出土銅剣、銅鐸、銅矛の保存修理を担当した。2004 年より別府大学にて後進の教育に従事する。主な著書に『保存科学入門』（分担：角川書店）など。